

平成30年度第3回新子どもかがやきプラン推進委員会の報告について

1 開催日時・場所

平成31年1月11日（金）13:00～15:00

於：岐阜県庁11階 教育委員会室

2 概要

アクションプラン2019について、意見を聴収した。

3 委員から出された主な意見

(1) 高等特別支援学校機能の整備について

- ・岐阜清流高等特別支援学校が就労支援のセンター校としての役割を担うことについて、新たに就労支援コーディネーターが設置されることで、県全体として企業への就職者の増加が見込まれるのでよい。
- ・特別支援学校高等部の職業教育の充実として作業学習の研究開発を踏まえ、中濃特別支援学校と関特別支援学校の在り方を検討できるとよい。

(2) 障がいのある児童生徒のニーズに対応した学びの場の整備について

- ・他校型の少人数コミュニケーション講座を受講する生徒は、中学校までに通級指導教室で指導を受けている生徒が多いため、同じような取組が他の高等学校にあるのであれば受けたいとの声を聞いており、今後県内の高等学校に広がるとよい。
- ・スクールバスについて、児童生徒の乗車時間が長時間とならないように整備されることは大変ありがたい。
- ・医療的ケアが必要な児童生徒への教育環境の充実についてニーズが高い。重度重複の生徒が学習上で必要なものとして、コミュニケーションや機器操作に関するITツールが整備されるとよい。

(3) 学びの場を支える教員の専門性の向上について

- ・発達障がいの児童生徒に対応できる教員の養成については、今後、多くの教員が必要となるため、教員数を確保することが急務である。
- ・直近に対応できる教員の養成の他に、後継者となる次の世代の教員の育成も行いたい。